

学校の教育目標	* 自ら進んで学ぶ生徒になろう * あたたかい豊かな心の生徒になろう * 健康でたくましい生徒になろう	
特別活動の目標	* 生徒会活動を活性化し、一人一人の生徒が諸課題に意欲をもって取り組み、学校生活の充実と向上を目指す。 * 全生徒が主体的に、積極的にボランティア活動に取り組み、社会性や公共道徳の精神を養う。 * 学校、学年行事の企画・立案の段階から生徒に積極的に参加させ、自治・協力・責任・思いやり・豊かな情操の涵養を図る。 * 全体計画に沿って、給食指導、健康安全指導を行い、自他の健康や事故防止に関心をもって生活する生徒を育てる。	
目指す子供像	○第一学年 常に希望と目標をもって考え、行動する意欲をもち、互いに認め合い、望ましい人間関係を確立できる生徒 ○第二学年 中堅学年としての自覚を高め、お互いの考えや良さを認め合いながら学級や学校全体の生活の充実と向上を図り、主体的に集団生活を送ることができる生徒 ○第三学年 最上級生としての立場と役割を自覚し、集団の一員として責任をもって他のために尽くし、互いに励まし合って悩みを克服し、自己の向上を図ることができる生徒	
特別活動の重点目標	・学校・学年行事など、望ましい集団活動や体験活動を通して、基本的な生活習慣を確立し、豊かな学校生活と信頼関係を築く。 ・校内や地域のボランティア活動に積極的に参加し、貢献することで公共の精神を養い、地域社会の一員としての自覚と社会性の育成を図る。 ・保健指導、安全指導を効果的に行うことで、自他の生活や安全に関心をもち、より良い人間関係の形成を図る。 ・学級活動、生徒会活動において各自の責任を果たし、委員会活動を活発化させて主体性を育成するとともに、自治能力と社会参画力を育成する。	

目標		学級活動	生徒会活動	学校行事
指導の方針		学級の一員として学級や学校におけるより良い生活、人間関係づくりに自ら進んで努力し、責任をもち、他と協力し合いながら集団の課題を解決しようとする実践的で健全な態度を育成する。	生徒会や委員会の一員としてより良い学校づくりのための様々な活動に積極的に参加し、自分たちの学校生活を自主的により良くしていくとする態度を育成し、組織貢献力の伸長を図る。	学校行事に意欲的に参加し、全体での活動を通して集団への帰属意識や連帯感を高め、協力することでより良い学校生活を築こうとする自主的な態度を育成する。
主な指導内容		(1) 学校の伝統を受け継ぎ、より良いものを創造していこうとする態度を育成し、基本的な生活習慣の定着を図る。 (2) 生徒一人一人が学級の課題に気づき、学級生活の向上を目指して解決すべき共通の課題に主体的に取り組ませる。 (3) 学習活動の充実を図るため、学習の基礎基本のあり方や授業への取り組み方を考えさせ、学習方法の改善や学習効果の高め方を考えさせる。 (4) 学校生活への適応を図ると共に、学級内での人間的な結びつきを深め、望ましい信頼関係とあたたかい友情を育む。 (5) 自己の能力や適性についての理解を深めながら将来への夢をもたせ、それを実現するための進路について考えさせながら、社会人としての自立を促す。	(1) 自分たちの学校生活を充実・発展させるために、その改善・向上を目指して委員会活動をはじめとした自発的な自治活動を展開させる。 (2) 学校の実態に即した生徒会組織や活動の改善を図り、集団が抱える諸問題や意見が反映されるよう工夫する。 (3) ボランティア活動に重点をおき、主体的な活動に意欲的に取り組む態度を育て地域社会の一員としての自覚をもたせる。 (4) P T Aや地域と連携した生徒会活動を広く展開し、社会性を身に付けさせる。	(1) 学校生活全体の中に落ち着き、リズム、活気を与え、学校行事を通して日常の学習成果を総合的に発展させるとともにその成果を発揮させることで、明るく豊かな学校生活にする。 (2) 学校行事を通して一体感を味わわせ、集団への帰属意識を高め、感動的な体験を創り出すことによって人間としての在り方を学ばせる。 (3) 生徒が自主的・主体的に活動する場を多く設定し、興味や意欲をもって取り組めるよう行事を企画・運営する。
配当時数		(1) 学校・学級生活の基盤づくり 20 単位時間 (2) 個人の成長と集団への適応及び健康安全管理 7 単位時間 (3) 学習習慣及び進路学習 8 単位時間	(1) 生徒会活動 6 単位時間 (2) 全校生徒の交流 5 単位時間 (3) 学校行事への参画 4 単位時間	(1) 儀式行事 10 単位時間 (2) 文化行事 20 単位時間 (3) 健康安全・体育行事 20 単位時間 (4) 旅行・宿泊行事 20 単位時間 (5) 勤労生産・奉仕行事 15 単位時間
他の教育活動との関連	各教科	各教科の言語活動や発表活動を通して発表力や表現力を高め、そこで培われた能力を基盤として学級内の活動や行事における企画・調整・討議を行う。また、保健体育や家庭科での学習を活かし、生徒相互の理解を深め、心身の健康と望ましい生活習慣の形成を目指す。	各教科の言語活動や発表活動を通して発表力や表現力を高め、そこで培われた能力を基盤として学校全体の生徒会活動に伴う学級内の活動や行事における企画・調整・討議を行う。また、学校をより良くするための生徒会活動に自発的な実践的活動を促す。	文化行事においては、全ての教科の学習との連携を図り、合唱祭においては特に音楽科との連携を図る。また、体育的行事においては保健体育科の学習成果の発表の場として位置づける。旅行・宿泊行事においても各教科の学習を体験的に実践する機会とし、全ての教科の学習と関連付ける。
	道徳	集団生活において自己の役割や責任を果たすことの大切さを知り、自分勝手な行動をとらずに周りと協力しながら生活する態度、集団の一員として進んでより良い人間関係を築こうとする態度、ルール・マナーを進んで守ろうとする態度、個人や集団の課題を解決しようとする態度、他の良さを認めながら集団生活を送ろうとする態度の育成を目指す。	各種行事への積極的な参画やボランティア活動への意欲的な参加を促すことで、学校のために協力して課題を解決していく姿勢や道徳心を身に付ける。	どの行事においても協力しながら成功を目指し、道徳心を養う。喫煙防止、薬物乱用防止教室等においては自他の生命を尊重する態度、奉仕の行事では積極的に社会に貢献する態度を育成する。儀式行事では伝統の継承と文化の創造に寄与し、愛国心を育てる。
	総合的な学習の時間	自己の望ましい進路選択に向けた進路学習を通して、それに必要な知識を与えるとともに、日々の学習の大切さに気付かせる。また、より良い人間関係を築き、生活における諸問題を解決する態度と能力の育成を図る。	各種行事への積極的な参画やボランティア活動を通して個人と集団との関わりを学び、問題発見・課題解決能力を育成するとともに、協力する姿勢や公德心を身に付ける。	職場体験、ボランティア活動を通して勤労生産・奉仕の精神を育成する。旅行・宿泊行事では自然体験活動等を通して学習の成果を発揮し、課題解決能力を育成する。学校行事全般において集団への帰属意識を深め、望ましい人間関係の形成と豊かな人間性を養う。
家庭や地域との連携		学級活動をはじめとした全ての教育活動において、集団の一員であるという自覚をもたせるとともに、その発展のためには家庭・地域の協力が必要不可欠であることを重視し、生徒にも家庭・地域の一員であるという自覚をもたせる。進路学習においては地域人材の積極的な活用を図り、関係諸機関との連携を図りながら進めていく。	生徒会の活動が校外や地域へ広がりを見せるよう、家庭・地域との連携を深め、その教育力を総合的に活用する。ボランティア活動においては関係諸機関や地域の教育施設等と積極的な連携を図り工夫して取り組む。	全ての学校行事において P T A・家庭・地域との連携を深め、三位一体となって行う。
備考				